

2022年5月第1回理事会議事録

日 時：2022年5月14日（土）13：00～16：15

場 所：日本考古学協会事務所・オンライン会議

出席：辻 秀人・佐古和枝・佐藤宏之・足立佳代・植田 真・亀田直美・河村好光・小菅将夫・惟村忠志・滝沢 誠・田尻義了・谷口 榮・寺崎秀一郎・中嶋郁夫・中山誠二・萩野谷 悟・馬淵和雄・溝口孝司・高麗 正、監事：都築恵美子・橋本裕行、（事務局：林 純子・近藤絵里奈）

欠席：臼杵 勲・大塚昌彦・岡林孝作・時枝 務・宮里 修

進行：滝沢 誠

議長：辻 秀人

滝沢理事から、本日の出席者は21名（うち理事19名）で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

中嶋理事から、東京都の貞末堯司会員が2021年2月9日、兵庫県の上田哲也会員が9月6日、千葉県の萩 悦久会員が2022年1月3日、東京都の川岸良明会員が4月15日、岩手県の武田良夫会員が逝去年月日不明で亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第669号 退会会員の承認について

中嶋理事から、北海道の*会員、東京都の*会員・*会員、大阪府の*会員、奈良県の*会員、島根県の*会員、海外の*会員から2021年度をもつての退会届、北海道の*会員・*会員、福島県の*会員、茨城県の*会員、東京都の*会員・*会員、山梨県の*会員、愛知県の*会員、大阪府の*会員から2022年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

また、賛助会員（フレンドシップ会員）の*会員から2021年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、承認された。

議案第670号 2022年度新入会員の決定・異議申し立て結果に関わる総会提案について

中嶋理事から、正会員の入会資格審査の経過が説明され、資格基準該当者に対し、正会員から異議の申し立てを受け付けたところ、期日までに異議の申し立てはなかった。よって、2022年度新入正会員の入会資格審査は、申込み総数43名、うち2名は申込みを辞退し、1名が資格基準に該当せず、40名が内定者となり、第88回総会にて承認を受ける予定であることが説明され、承認された。

議案第671号 第15回アイヌ研究倫理検討委員会準備会に関わる提案について

佐藤副会長から、3月8日に開催されたアイヌ研究倫理検討委員会準備会とその後の経過について説明があった。3月8日の第15回アイヌ研究倫理検討委員会準備会において、パブリックコメントを受けた「研究倫理指針（案）」の検討を行ったところ、日本文化人

類学会から4項目の修正案が提案された。これに対して、準備会の加藤博文座長からこの修正案への対応案の提案があり、この対応案を当会研究環境検討委員会内の研究倫理部会で協議・了承したことから、理事会に提案するとの説明があり、審議の結果、原案通り、次のアイヌ研究倫理検討委員会準備会に対応案を提示することで承認された。

議案第672号 社会科・歴史教科書等検討委員会委員の選任等について

小菅理事から、駒木野智寛委員・松本建速委員2名の任期満了による退任に伴い委員を公募したところ、期日までに2名の応募があり、委員会での検討の結果、応募者の茨城県の佐藤 誠会員、滋賀県の竹村吉史会員の2名を新たに委員として選出したいとの説明があり、原案通り承認された。

なお、常置委員会の任期については、定時総会を起点とし1期を2年後の定時総会までとすることが確認された。

議案第673号 機関誌『日本考古学』編集委員会委員の選任等について

植田理事から、小林謙一委員・松木武彦委員2名の任期満了による退任に伴い、新たに東京都の建石 徹会員、茨城県の田中 裕会員の2名を委員として選出したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第674号 埋蔵文化財保護対策委員会委員の追加選任について

馬淵理事から、3月理事会議案第668号で承認された2022～2023年度埋蔵文化財保護対策委員会委員に、人数が不足していた奈良県と熊本県の委員を追加で各1名ずつ選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第675号 広報委員会委員の選任等について

谷口理事から、小澤正人委員が任期満了により退任し、引き続き前委員長である近藤英夫委員と、新たに第88回（2022年度）総会で理事を退任する京都府の佐古和枝会員・千葉県の滝沢 誠会員の2名を委員として選任したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第676号 災害対応委員会委員の選任等について

田尻理事から、近藤英夫委員・渋谷孝雄委員・宮本一夫委員の退任に伴い、新たに静岡県の大谷宏治会員、及び第88回（2022年度）総会で理事を退任する高知県の宮里 修会員の2名を委員として選出したいとの説明があり、原案通り承認された。

議案第677号 2021年度決算及び監査報告について

中山理事から、決算関係書類の提示があり、2021年度決算は、一般会計では前年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、各委員会等の対面開催が制限されオンライン開催となったことに伴い旅費交通費が大幅に予算額より減少となったこと、印刷費が予算額より抑えられたことから、2022年度への繰越額が大幅に増額となったとの説明があった。なお、正会員の未収会費が520万円ほどであることから、年度内の納入を求める必要がある。また、特別会計の科学研究費補助金については、英訳料が予算額より増加し

たが、新型コロナウイルス感染症の影響で旅費や運搬料の支出がなかったため、返還金が生じたとの説明があった。

続けて都築監事から、5月10日（火）に監査を実施し、2021年度の事業及び会計書類を監査した結果、適正に行われたと判断したとの報告があった。

審議の結果、2021年度決算及び監査報告については原案通り承認された。

なお、コロナ禍により翌年度への繰越金が増額となっている点については、総会・大会時のコロナ対応や、長期的には会員数の減少による収入の減少や、コロナ禍の収束後に支出が増加することが見込まれるため、将来を見通した適正な支出を行う必要のあることが確認された。

議案第678号 理事選挙の開票結果及び新理事候補の総会提案について

中嶋理事から、4月2日（土）に第3回選挙管理委員会を開催して開票作業を行い、①投票率は26.6%であったこと、②開票の結果、協会規則に基づく23名の総会付議候補者及び次点者1名を示した候補者の得票順位表の作成が報告された。これを受けて、辻会長から、選挙による理事候補者23名及び常務理事1名の合計24名を、新理事として第88回（2022年度）総会で承認を受けるかたちであることが説明され、承認された。

議案第679号 監事任期満了に伴う退任と新任監事選出の総会提案について

佐藤副会長から、橋本裕行監事が第88回（2022年度）総会で任期満了となるため、定款第26条第2項に基づき、新監事候補者として、同総会で理事を退任する現財務理事の萩野谷 悟会員（茨城県）の推薦提案があった。審議の結果、原案通り、次期監事候補として第88回総会に諮ることで承認された。

議案第680号 令和4年度岩宿文化賞の選考委員の推薦について

佐藤副会長から、群馬県みどり市から岩宿文化賞選考委員の推薦依頼がある旨の説明があり、審議の結果、新理事候補者の広島県の藤野次史会員を推薦することで承認された。

報告第878号 カフェde考古学第2回「大山古墳のいま」の実施報告

滝沢理事から、4月9日（土）にカフェde考古学第2回「大山古墳のいま」をオンラインで開催し、30名募集のところ、関係者以外で26名程度の参加を得て、参加者と対話形式で行ったとの報告があり、了承された。

報告第879号 高輪築堤シンポジウムの成果と質疑等報告

足立理事から、4月16日（土）に「シンポジウム～高輪築堤を考える～」をZoomウェビナーを用いてオンラインで開催し、300名程度の参加を得たことが報告された。また、当日にチャットで受けた質問に対する回答やシンポジウム内容の記録集の作成を、中心となって実施した埋蔵文化財保護対策委員会では検討しているとの説明があり、各理事から内容及び冊子体かWebでのPDF公開かの刊行形態、また刊行時期等について意見が出された。

報告第880号 新『名簿』の配布後の課題

社会長から、『2021年度版会員名簿』を昨年度末に刊行し4月に配布したところ、掲載されていない会員から問い合わせが多数あり、追加掲載希望の場合は、例年8月刊行の『会報』に同封している新入会員の名簿に併せて掲載することで対応するとの説明があり、理事にも同様の問合せがあった場合には案内が求められた。

報告第881号 会費高額滞納者への督促結果と会員資格の喪失について

高麗常務理事から、2019～2021年度会費の滞納により下記の正会員11名・賛助（フレンドシップ）会員1名が、定款第11条第1項1号に則り会員資格を喪失したとの報告があり、了承された。なお、滞納会費の督促については継続する。

正会員：*（茨城県）、*（栃木県）、*（群馬県）、*（千葉県）、*（神奈川県）、*（神奈川県）、*（東京都）、*（新潟県）、*（兵庫県）、*（香川県）
賛助（フレンドシップ）会員：*（千葉県）

報告第882号 「引継ぎ準備会」の実施について

社会長から、新理事会への引継ぎを迅速に行うために、新理事候補者との引継ぎ準備会を本理事会の後に開催し、新理事会の役割分担案等を協議するとの説明があり、了承された。

報告第883号 2022年度第88回総会の全体進行について

寺崎理事及び田尻理事・滝沢理事から、2022年度第88回総会について、「総会実施要項」に基づき、集合時間等日程並びに役割分担等の進行が確認され、また新型コロナウイルス感染症の対策として不織布マスク着用の徹底が求められた。続けて河村理事から、高校生ポスターセッションの実施方法及び優秀賞選考方法等の説明があり、了承された。

報告第884号 「岩手県立博物館における文化財への不適切行為事案」調査結果（最終報告）について

社会長から、岩手県立博物館の元学芸員が金属器を無断で切取っていた問題について、岩手県教育委員会による「岩手県立博物館における文化財への不適切行為事案」調査結果（最終報告）が取りまとめられ3月15日付けで公表されたことを受けて、社会長・佐藤副会長が当該会員と面談し、事実確認を行ったことが報告された。面談の結果、岩手県教育委員会の最終報告で指摘された岩手県内資料101点の無断切取りは事実として認定せざるを得ないとの結論に至ったとの説明があり、今後の協会の対応について意見交換が行われた。

報告第885号 各委員会等における2021年度会議等報告について（その8）

1 埋蔵文化財保護対策委員会幹事会の報告

馬淵理事から、3月12日（土）及び4月17日（日）に幹事会をオンラインで開催し、①港区高輪築堤跡について、4月16日（土）の「シンポジウム～高輪築堤を考える～」の実施を受けて当日の議論の記録集刊行の検討や現況を確認した。②3月16日の福島県沖で発生した地震における文化財の被害状況について確認を行った。③水無瀬離宮関連の大阪府島本町越谷遺跡の開発計画について、要望書提出の検討と併せて今後の状況を注視してい

くとの報告があり、了承された。

2 社会科・歴史教科書等検討委員会の報告

小菅理事から、4月9日（土）に委員会をオンラインで開催し、①委員公募への応募者2名の申込書類を確認し、新委員として理事会に諮ることとした。②協会ホームページの当委員会に関連する箇所について、修正や追加の検討を行った。③昨年度実施した教科書出版社への訪問について、今年度は別会社へ訪問する準備を進めているとの報告があり、了承された。

3 研究環境検討委員会の報告

亀田理事から、4月24日（日）に委員会をオンラインで開催し、①矢島研究倫理部会長から「アイヌ民族に関する研究倫理指針（案）」の修正提案及びその対応案についての説明を受けた。②第88回（2022年度）総会のポスターセッションについて、理事会からの意見をを受けてタイトルを「提言」ではなく「問題提起」とし、発表要旨原稿及びポスター内容の検討を行った。③任期満了となる委員がいることから、新体制及び新委員の選任について協議したとの報告があり、了承された。

4 災害対応委員会の報告

田尻理事から、4月14日（木）に委員会をオンラインで開催し、①委員会の体制について協議した。②今年度第1回文化遺産防災ネットワーク推進会議への参加者の調整を行ったとの報告があり、了承された。

5 アーカイブス小委員会の報告

谷口理事から、4月22日（金）に委員会を対面で開催し、①今年度予算の確認を行い、今年度事業として予定している定期刊行物のデジタル化及び会員カードのデジタル化と整理の作業スケジュールを協議した。②アーカイブ対象資料のリストと現物資料との照合作業を行うとともに、今後のアーカイブ作業の効率化に向けてマニュアル化を図るとの報告があり、了承された。

6 広報委員会の報告

谷口理事から、4月8日（金）に委員会をオンラインで開催し、①第88回（2022年度）総会における図書交換会について、対面では実施しないことから、代替としてホームページ上で「考古学スクエア」を実施し、また出版社から申し出のあった「出版社合同パンフレット」の会員への配布については、「考古学スクエア」の一貫として便宜を図ることとした。②協会ホームページで実施しているリレー・コラム「コロナ禍の考古学」は2022年5月の区切りに向けて順調に連載しており、次の企画については理事改選後に改めて検討する。③新年度の委員会体制について協議したとの報告があり、了承された。

報告第886号 2021年度事業の総会口頭報告について

第88回（2022年度）総会議事における各説明担当理事から、それぞれ説明原稿が提示さ

れ、各自確認の結果、修正点の指摘がある場合には各担当理事に直接連絡することが確認された。

その他

1 高校生ポスターセッションの参加記念品の募集について

河村理事から、第88回（2022年度）総会における高校生ポスターセッション記念品として、参加件数分の書籍等の寄贈が各理事に求められた。

以 上